

令和2年度の事業概要報告

福岡県の人口は、約511万人
北九州市と福岡市の2つの
政令指定都市と
久留米市の中核都市を
もっている県である。



(事業受託者： 特定非営利活動法人 NPO福祉用具ネット)

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
筑豊地区 モデル施設

各地区に、1つの先行モデル施設と2つの新規取り組み施設
の3施設が参加。
県内の12の施設が、モデル施設1期生として、この事業に取り組みました！



◎特別養護老人ホーム 明日香園
介護複合施設ひばり
特別養護老人ホーム 本陣園

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
筑後地区 モデル施設

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア
モデル施設 実践報告会

講師 (一社) ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳

福岡県ノーリフティングケア
普及促進事業2年目に向けて
〈これから目指す方向性〉



◎特別養護老人ホーム 宝生園
特別養護老人ホーム 常照苑 くすのき通り
特別養護老人ホーム 桜の丘

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
福岡地区 モデル施設

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
モデル施設 実践報告会



福岡県ノーリフティングケア
普及促進事業2年目に向けて
「これから目指す方向性」
講師 (社)ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表理事 下元 佳子氏 (理学療法士)

◎特別養護老人ホーム ねむのき
介護老人保健施設 さわら老健センター
特別養護老人ホーム 仙寿苑・はまぼう

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
北九州地区 モデル施設

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業
モデル施設 実践報告会

講師 (一社)ナチュラルハートフルケアネットワーク 代表

福岡県ノーリフティングケア
普及促進事業2年目に向けて

これから目指す方向性



◎特別養護老人ホーム ふじの木園
特別養護老人ホーム 風の家
特別養護老人ホーム 誠光園

令和2年度 福岡県ノーリフティングケア普及促進事業

取り組みの概要

研修日程・教育内容・講師紹介

令和2年度ノーリフティングケア普及促進事業 研修日程一覧

	8月 1回目		9月 2回目		10月 3回目		10月 フォロー①		11月 4回目		12月 5回目		12月 フォロー②		1月 フォロー③	
筑豊地域	8月3日	月	9月2日	水	10月2日	金	10月19日	月	11月4日	水	12月4日	金	12月17日	木	1月6日	水
筑後地域	8月7日	金	9月4日	金	10月8日	木	10月23日	金	11月6日	金	12月8日	火	12月21日	月	1月8日	金
福岡地域	8月11日													火	1月5日	火
北九州 地域	8月12日														1月7日	水
	オンラ														オンライン	
研修時間は、1回																を行います。
																報告会 バープラザ バーホール 画配信実施
全体参加研修 新型コロナの感染対策のために入 場制限を行い、動画配信とした。																火
					10月5日	月							10時～17時			
									13時～17時 会場参加者 93名 動画配信 170施設							会場参加者 34名 動画配信 155施設

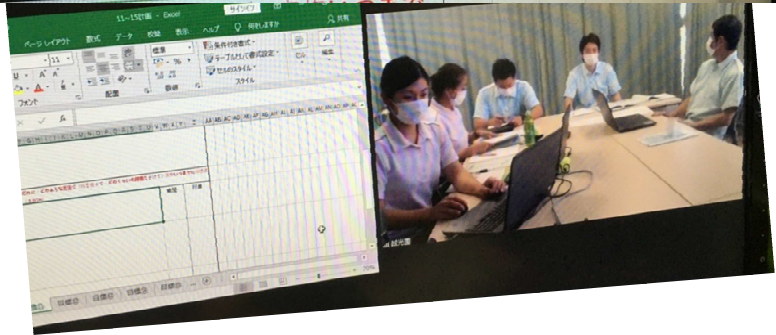
4つの地区別に
マネジメント研修5回・フォローアップ研修3回
各地域8回実施 合計32回開催

その他
モデル施設交流会
管理者対象の導入研修会
実践報告会を開催

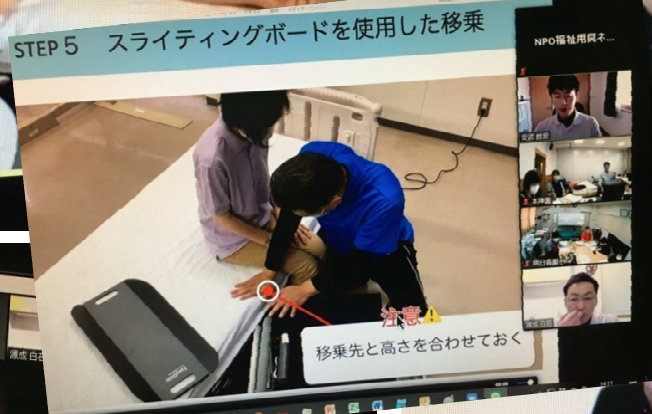
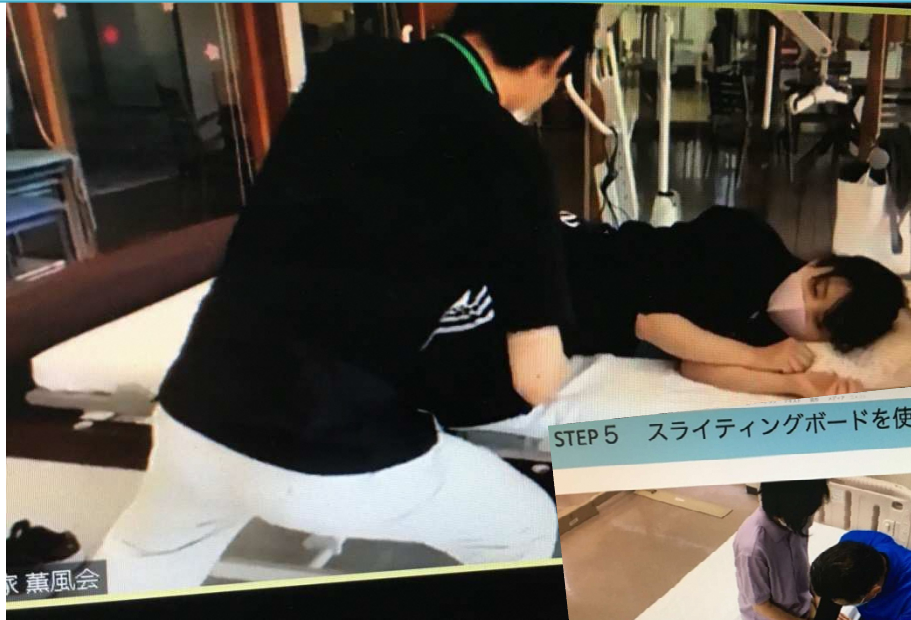
オンラインによるマネジメント研修の教育内容

	時期	マネジメントワーク					動画をもとに 実技の確認	
		委員会	対象者の プランニング	環境整備	職員の 健康管理	教育		
第1回目	8月	腰痛予防対策委員会の 立ち上げ手法	リスク把握表の記入 調査手法 対応すべき優先度の 高い対象者の把握	職場環境の調整 の手法 現状の環境把握	腰痛調査手法 腰痛調査の結果 の周知	必要性と目的 の共有		
第2回目	9月	リスクマネジメント の実践	優先順位の高い対象		腰痛調査の分析 とリスクの高低	基本的な動き	身体の使い方 の動きのサポート	
第3回目	10月		<div style="border: 2px solid lightblue; border-radius: 20px; padding: 20px; width: fit-content; margin: auto;"> <h3 style="margin: 0;">計画的なプログラムに沿って 実施</h3> </div>					上ケア の使い方 の使い方
第4回目	11月	組織の メン						
第5回目	12月	全体計画の進捗確認と今後半年間の計画立案						
第6回目	10月 12月 1月	福岡・北九州・筑豊・筑後地域をフォローアップを目的として、 各施設への個別対応（解からないこと・困りごと）をオンラインにて実施。 施設間の情報交換の機会として、意見交換会を2回開催（10月・12月）						
第7回目								
第8回目								





研修は、すべてオンライン研修で実施



実技は、オンラインと教育用技術動画を活用



担当講師の紹介

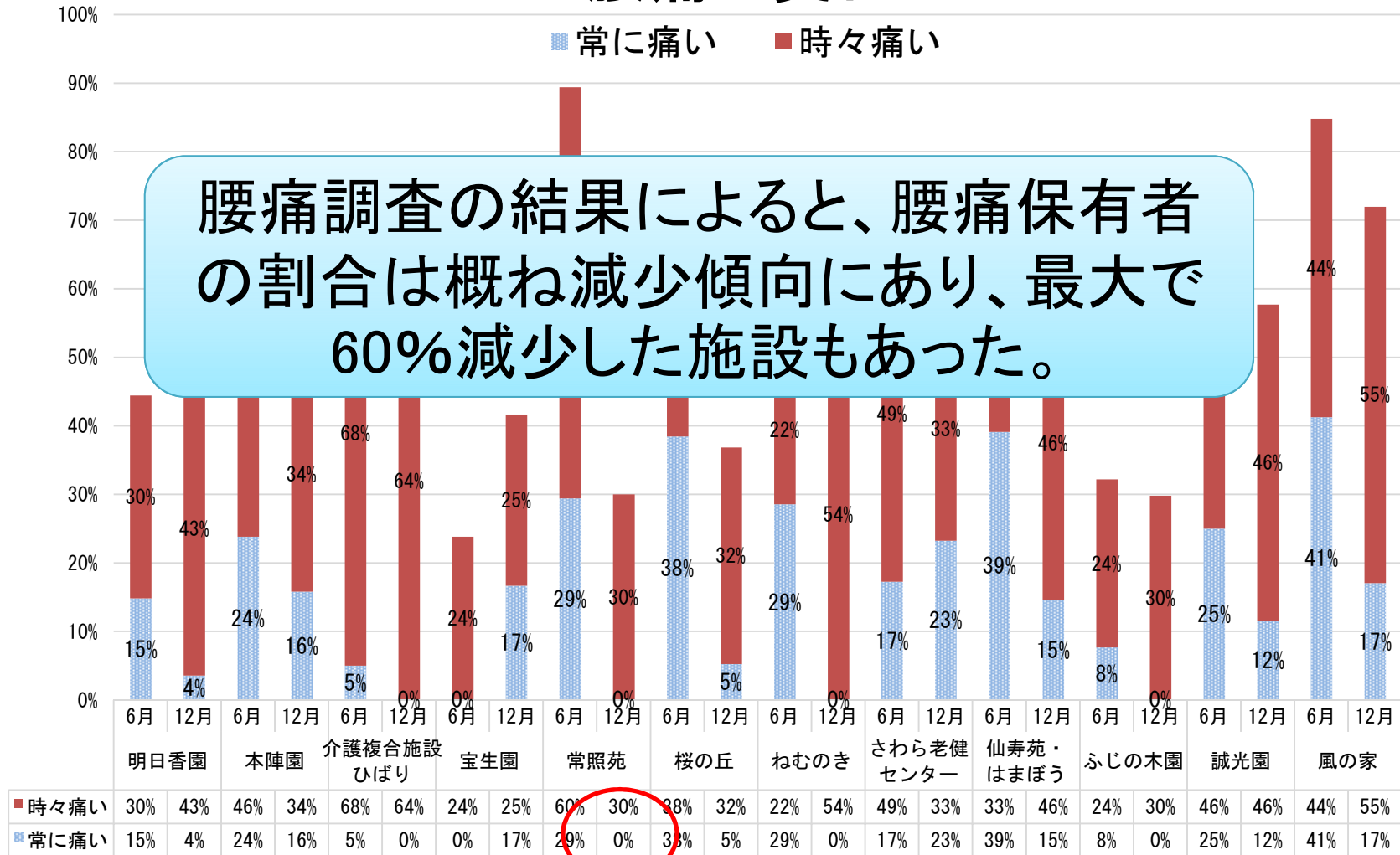
氏名	講師の所属	資格	
主担当 筑後地域 副担当 北九州地域 山形 茂生 (やまがた しげき)	・元 別府リハビリテーションセンター勤務 ・現在、コネクトリハビリテーション代表 ・NPO福祉用具ネット理事	・作業療法士 ・福祉用具プランナー ・リフトリーダー	
主担当 筑後地域 副担当 北九州地域 櫻木 さとみ (さくらぎ さとみ)			
主担当 筑後地域 副担当 北九州地域 白石 しんじ (しろはし しんじ)			
主担当 筑豊地域 副担当 筑後地域 安武 哲宏 (やすたけ てつひろ)	・元、戸畑リハビリテーション病院リハビリテーション科勤務 ・一般社団法人 ナチュラルハートフルケアネットワーク (高知県)	・作業療法士 ・日本ノーリフト®協会 ノーリフトケアコーディネーター	

担当講師は、
ノーリフティングケア講師経験者
4人の作業療法士が担当

毎回2名ずつで対応！

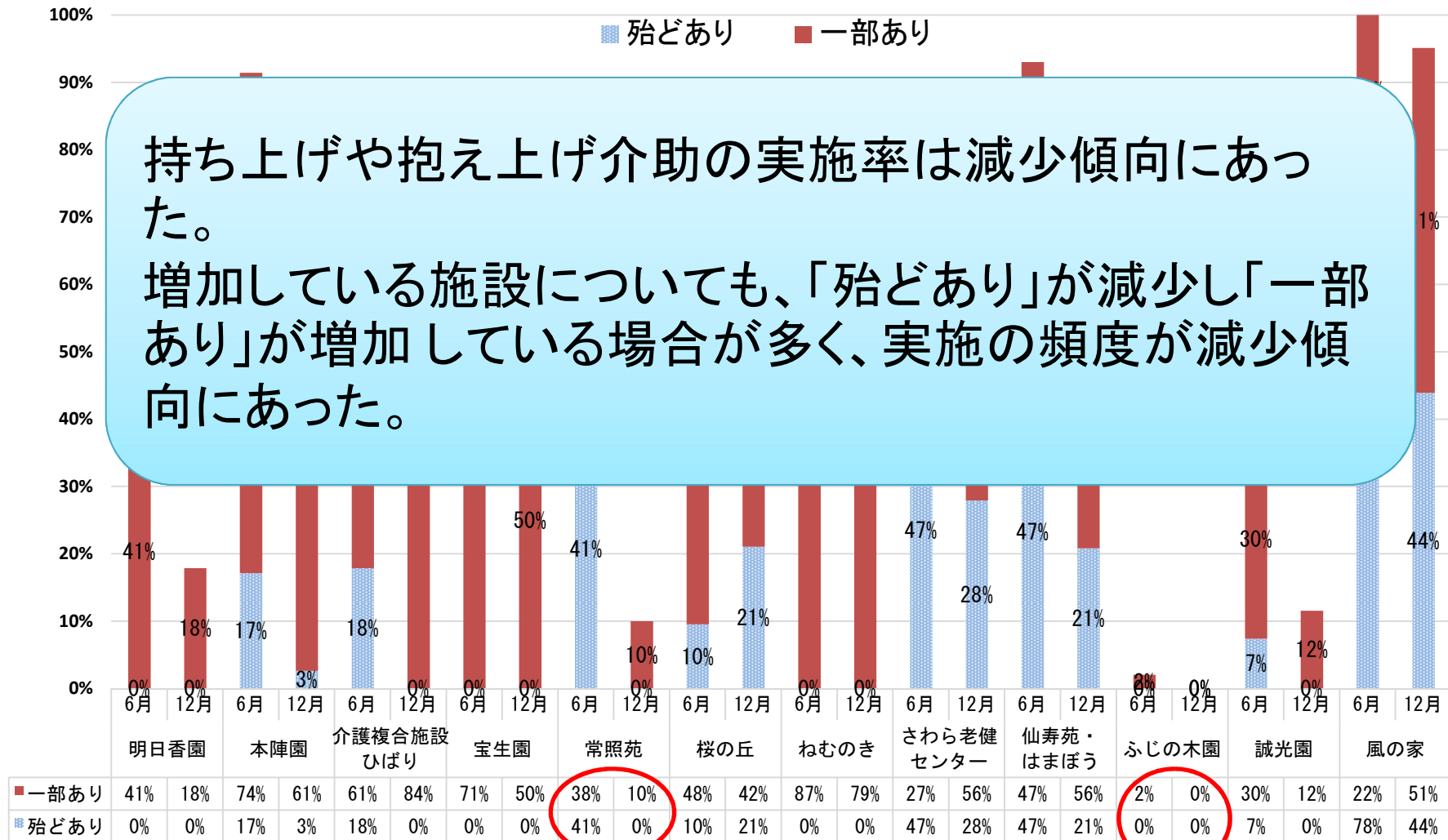
令和2年8月から、
モデル施設として、ノーリフティングケア
に取り組んだ結果は？

腰痛の変化



腰痛調査の結果によると、腰痛保有者の割合は概ね減少傾向にあり、最大で60%減少した。また、腰痛が増えている施設についても、「常に痛い」が減少し「時々痛い」が増加している施設が多く、腰痛発生の頻度が減少傾向にある。腰痛保有者が増加し、発生の頻度も減少していない施設については、報告の中で分

持ち上げや抱え上げ介助の変化



持ち上げや抱え上げ介助の実施率は減少傾向にあり、実施率が増加している施設についても、「殆どあり」が減少し「一部あり」が増加している場合が多く、実施の頻度が減少傾向にある。しかし、取組み期間中に困難事例に直面するなど、入居者の身体状況に合わせて、やむを得ず持ち上げや抱え上げ介助を実施した影響などにより、実施率が増加し、かつ、頻度も増加しているケースが見受けられた。